慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	韓国におけるモンテッソーリ教育受容の問題
Sub Title	Study on the problems with adopting the Montessori method in the Republic of Korea
Author	李, 善玉(Lee, Son Ok)
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	1996
Jtitle	慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要 : 社会学心理学教育学 (Studies in sociology, psychology and education). No.44 (1996.) ,p.5- 12
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論文
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000044-0005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

韓国におけるモンテッソーリ教育受容の問題

Study on the Problems with Adopting the Montessori Method in the Republic of Korea

李　　善　玉*

Lee Son Ok

The purpose of this paper is to clarify the reason why the Montessori Movement, which occurred in the United States was not affected the Korean kindergarten in the early decades of the twentieth century.

In this paper, the Ewha Kindergarten, which was established by the missionary from the United States at that time, was researched on the following points:

(1) Educational activities of the woman's Foreign Missionary Society

(2) Educational backgrounds of its teachers

The research reveals that (1) American missionaries established the Ewha Kindergarten when the Montessori Movement fell into decline in the United States. (2) Many teachers at the Ewha Kindergarten were graduates of the Teachers College, Columbia University, which tended to harbor negative attitude towards the Montessori Method.

The Ewha Kindergarten adopted child-centered education which emphasized "free-play" and activities for childrens by themselves despite the fact that the Montessori Method itself was not introduced to the Kindergarten during the early stage.

I would say that the ideal of the Montessori Method was introduced through the Ewha Kindergarten in regards to the children's education whose basic idea lay in child-centered education.

はじめに

アメリカと日本は韓国の近代史にもっとも深い関わりをもっている国であるが，幼稚園教育の場合も例外ではない。アメリカと日本は，それぞれ20世紀の初めに幼稚園教育の変革期を迎えた。アメリカの場合は激しい論争を通して改革が推進されたが，日本の場合は緩慢な改革が行われた。しかし，両国の変化の方向には，①Froebel 主義から脱皮しようとしたこと②子ども中心主義を志向したこと③幼稚園教育を自国化しようとしたことなどの共通点がある。即ち，アメリカと日本は，変革期を通して狭い意味での Froebel 主義から新しい子ども中心主義の幼稚園を発展させ，それぞれ独自な幼稚園制度と形態を定着させて幼稚園教育を自国化しようとしたのである。

以上のような変革の過程は近代幼稚園の世界史的特性であると言える。韓国の幼稚園は上記のような変革の途上にあったアメリカと日本の幼稚園から影響を受けて成立したものである。即ち，20世紀の初めの韓国の幼稚園は，変革期のアメリカと日本から「幼稚園」という教育機関と制度を導入したので，両国の幼稚園の変遷と関連づけて考察する必要がある。しかし本稿ではアメリカの影響による韓国のモンテッソーリ教育受容の問題を中心課題とするため，特に1909年から1921年までの時期，すなわち「アメリカの第1次モンテッソーリ教育運動」[1]の時期を中心に考察することにする。

モンテッソーリ教育[2]は，1909年にヨーロッパからアメリカに紹介され，大きなブームを巻き起こした幼児教育法である。当時のアメリカの教育界は，Froebel 主義

* 社会学研究科教育学専攻博士課程修了（教育哲学）

に基づいて伝統的な幼稚園を守っていこうとする「保守派」と，Froebel 主義幼稚園に批判的な立場をとる「改革派」との間に対立と論争が起こっており，それが「改革派」の勝利で終わった時期であった。その後，1910年頃からアメリカの幼稚園には幼稚園と幼稚園教師教育に革新的で進歩的な傾向が現れた。即ち，Froebel の精神を尊重して，自発的活動・創造的活動・社会性開発に重点を置くけれども，その方法として用いられていた恩物を排除して，自由で活動的な遊びが中心になるということであった。このような時期に，モンテッソーリ教育はアメリカに紹介された。

1909年から J. B. Merrill が「the Kindergarten Primary Magazine」にモンテッソーリ教育法を連載することによって，モンテッソーリ教育法はアメリカに初めて紹介された。その後，モンテッソーリ教育は進歩的な人たちによって熱烈に受け入れられ，アメリカに大きなモンテッソーリ・ブームを引き起こした。1909年から始まったこのモンテッソーリ・ブームは，1914年にコロンビア師範大学の教授である Kilpatrick から批判を受ける時まで続いたのである。本稿の目的は，韓国の幼稚園教育はアメリカから多大な影響を受けたにもかかわらず，1909年から1921年までアメリカで起こったモンテッソーリ教育運動が，そうしたアメリカでのブームがあり，またそのアメリカの教育の影響を多大に受けたはずの韓国の教育に，何故影響を及ぼさなかったかを明らかにしようとするものである。そのための方法としては，当時最もアメリカの影響が強かった「梨花幼稚園」を中心に考察する。

第1章 「梨花幼稚園」の成立と意義

「梨花幼稚園」は1914年1月7日に孫澤ホテルの一部屋で，アメリカ人の宣教師 C. G. Brownlee によって，16名の子どもを対象に始められた。これが「梨花幼稚園」の始まりである。当時，梨花学堂長であった Lulu E. Frey は1912年に安息の休暇のためアメリカに渡った時，Cincinnati 幼稚園教師養成学校に通っていた Brownlee に会って，卒業後韓国で幼稚園教師として勤めてくれるようにと要請した。これがきっかけで，Brownlee は卒業後アメリカ監理教女宣教会[3] Cincinnati 支部の派遣で1913年12月16日にソウルに赴任した。その後「梨花幼稚園」は幼稚園教育の専門家である Brownlee によって，本格的に発展するようになった。1915年には「梨花幼稚園」の中に「梨花幼稚園師範科」が開設され，韓国最初の幼稚園教師養成機関となったのである。

「梨花幼稚園」は韓国において設置された最初の幼稚園ではない。しかし，梨花女子大学校の教授である李相琴は次のような理由をあげて，「梨花幼稚園」を韓国幼稚園教育史の起点であるという位置づけをしている[4]。

①幼稚園教育の本質を実現しようとする明確な意図によって開設された。即ち，宣教と慈善を第一の目的としたのではなく，本格的な幼児教育のための明確な構想の下で開設されたということ。

②幼児教育の専門家によって幼稚園教育が行われた。即ち，幼稚園は明確な理念と内容と方法に基づいて幼児教育が行われる教育機関であるので，非専門家によって行われる幼稚園教育は模倣に過ぎない。この意味から考えると，「梨花幼稚園」の最初の教師であった Brownlee は韓国に幼稚園教育の本質を実現することができた最初の幼児教育専門家であったということ。

③教師養成体制を成立させ，幼児教育には訓練された高い資質をもつ教師が必要であるということを認識させたということ。

④韓国幼稚園界に先導的役割を果たした。即ち，幼稚園のモデルと教師養成のモデルを提示したこと，教具・教材の普及，さらに教師教育のための教材の普及などにおいて他の幼稚園に影響を与えたということ。

確かに，「梨花幼稚園」より以前にもいくつかの幼稚園はあったが，それらは日本人が彼らの子弟の教育のために設立した幼稚園（私立釜山幼稚園・庚子記念公立京城幼稚園[5]）であったり，宣教師が設立した幼稚園（名前未詳）であったが，それらは幼稚園教育について専門的な知識を持たない人たちによって設立・運営されたものであったため，子どもに簡単なゲーム・折り紙・聖書の話・唱歌・動作などを教えただけのものであった。従って，李相琴の説は納得のいくものである。上記の他に，私が「梨花幼稚園」に注目したのは次のような理由によるものである。

①アメリカ人の幼児教育専門家がいて，彼らが子どもの教育と教師教育に携わっていたということである。何故なら，彼らによってアメリカの幼児教育理論が韓国に移植・発展させられたので，当時アメリカで行われていたモンテッソーリ教育運動が，もし韓国に導入される可能性があったとしたら，それは彼らによってできることであったと考えられるからである。

②子ども中心主義の幼児教育[6]が，「梨花幼稚園」の

Brownlee と VanFleet によって展開されたということである。何故なら，子ども中心主義の教育理念は，モンテッソーリ教育法の本質をなすものであるからである。

③コロンビア師範大学で修学したアメリカ人と韓国人の教師が多数在職し[7]，彼らがコロンビア師範大学で推進されていた「活動中心」の幼児教育を韓国で実践し普及させたということである。何故なら，20世紀初めのコロンビア師範大学は進歩的な幼児教育の中心地であり，モンテッソーリ教育運動に関しては，当時モンテッソーリ・ブームに水をさした一つの要因を提供した所であったからである。

以上のような理由によって，第2章以下は「梨花幼稚園」を例として，モンテッソーリ教育受容の問題を考察してみることにする。

第2章 「梨花幼稚園」の特徴

(1) アメリカ人の幼児教育専門家たちの活動

Charlotte Brownlee は，Cincinnati 幼稚園教師養成学校 (Cincinnati Kindergarten Training School) を卒業した人で，「梨花幼稚園」は幼稚園教育の専門家である Brownlee によって本格的に発達するようになった。Brownlee によって「梨花幼稚園」が始まる前に，韓国に幼稚園という施設が全くなかったわけではないということは前章で触れた。しかし，それらは李相琴が指摘するように，明確な理念と内容と方法に基づいて幼児教育が行われる教育機関でなかったのであって，幼稚園を模倣したものに過ぎなかった。VanFleet も言っているように「初期の宣教師たちは韓国に幼稚園を開設しようと努めたが専門家ではなかったので，幼稚園の教材 (Material) を紹介する程度にとどまった」[8] ということであり，Brownlee によって初めて専門家による幼稚園教育が行われるようになったといってよい。さらに，Brownlee は1915年に開設された幼稚園師範科で，進歩的で質の高い教師養成に尽力するなど，積極的に幼稚園教育を展開させた。特に注目すべきことは，Brownlee が幼稚園関係の著書と教材類を多く刊行したことである。Brownlee は，Froebel の2大著書である『人之教育』と『母の遊戯と歌』を翻訳 (1913-1918) してそれを幼稚園師範科の教材に使った。そして，Brownlee は，Hill の Conduct Curriculum がアメリカで出版された1923年直後からそれを自分の教育理論と実践にとり入れ，1932年にはそれを韓国語に翻訳した。『活動に基づいた幼児教育法 (A Conduct Curriculum for the Kindergarten and First Grade)』という本のタイトルは，Brownlee が Hill のカリキュラムの中でも，特に活動中心のプログラムに強調点を置いていたということを反映するものである。以上のような Brownlee の活動から，「梨花幼稚園」で進歩的な活動中心教育が行われていたということがわかる。

Edna VanFleet は1918年に監理教女宣教会から「梨花幼稚園」に派遣された。VanFleet は Brownlee と同じ学校 Cincinnati 幼稚園教師養成学校を卒業し，さらにコロンビア師範大学 (the Teachers College, Columbia University) (1925年・1932年) で B.A. (学士) と M.A. (修士) をとった人である。

VanFleet の幼児教育観は，Brownlee と同様にとても進歩的なものである。彼女は，「子どもの心理発達は遊戯を通して助長することができるし，子どもの規律を正しくするにも遊戯以上の方法はない」[9] と考えた。そして，幼稚園は読み・書き・計算を教えるところではなく，遊戯中心教育をするところであるという信念の下で教育を行った。VanFleet の幼稚園教育の教材と設備項目を見る[10]と，彼女が子どもの自由活動・遊び中心・経験中心・社会性開発などを幼稚園教育の目的として実現しようとしたということがよくわかる。

Clara Howard は，1923年に来韓し，好壽敦東・西・南・北幼稚園及び中央幼稚園を運営した。さらに，好壽敦女子高等普通学校の教員を歴任し，「梨花幼稚園師範科」でも一年間講義を行った (1925)。1928年には，コロンビア師範大学で幼児教育の M.A. を取得した。Howard が幼児教育において強調したのは，幼児期における遊戯の重要性である。特に Howard は子ども中心主義の幼児教育を全国各地に普及させるため，多様な活動を展開した。

以上のように，Brownlee・VanFleet・Howard といった初期「梨花幼稚園」の教師たちはいわゆる進歩主義派幼稚園教育者であって，彼女たちが韓国の幼稚園にアメリカの進歩的幼児教育理論を移植・発展させた。即ち，彼女たちが「梨花幼稚園」で展開した幼稚園教育は，子どもの自由な活動を中心とするアメリカの進歩的教育理論と実践に基づくものであった。

(2) コロンビア師範大学の影響

幼稚園教育の専門家である Brownlee と VanFleet によって，韓国にもたらされた自由で活動中心の幼稚園教育がいかなるものであったか，その詳細は，彼女たちが幼児教育の専門家として訓練を受けたアメリカの幼稚園

教育改革の動向と関連づけて考えてみなければならない。

当時アメリカでは，Froebel の恩物を中心とする伝統的 Froebel 主義幼稚園に対して，19 世紀末から批判の声が高まっていた。そして，1890 年代から Stanly Hall, John Dewey などの研究により幼稚園改革の必要性が強調されていた。20 世紀の初めに国際幼稚園連合 (I.K.U.)[11] とコロンビア師範大学で Froebel 主義保守派と改革派との間に論争が起こったが，その論争は改革派の勝利に終わった。その後，1910 年頃から幼稚園と幼稚園の教師教育に革新が行われるようになる。コロンビア師範大学の幼稚園教育は，アメリカで最も進歩的な子ども中心主義教育が実践されていた。コロンビア師範大学では，Dewey と Thorndike の理論に基づいて推進されて来た民主主義教育理論とそれに符号する子どもの習慣形成という新しい幼児教育を受容していた。即ち，コロンビア師範大学の幼稚園教育は Froebel 幼稚園の伝統的な恩物を排除し，Dewey の哲学に基づいた民主主義的生活教育の場として発展していた。しかし，幼稚園の精神としては相変わらず Froebel の理想を追求していた。従って，コロンビア師範大学の幼稚園教育理論は，Froebel の精神を継承して Dewey が発展させたと言うことができる。

1910 年代は新旧教育法が共存しながら新しいカリキュラムが模索されていたが，1919 年と 1921 年には，I.K.U. が幼稚園カリキュラムのモデルを提示し，1923 年には Patty Smith Hill がコロンビア師範大学で『A Conduct Curriculum for the Kindergarten and First Grade』を出版した。その Patty Smith Hill が進歩主義幼稚園運動の指導者として，1904 年以来コロンビア師範大学において講義を行っていた。その後，コロンビア師範大学は Hill の指導の下で，進歩主義幼稚園運動のメッカとなったのである。

1914 年に来韓した Brownlee が，以上のような新しい理論に基づいた教師訓練課程を受けて来たということは明らかである。さらに，1918 年に来韓した VanFleet と 1923 年に来韓した Howard は，アメリカ幼稚園の進歩的な教育課程をより多く体験して来たに違いない。そして，韓国の子ども中心主義幼児教育は，「梨花幼稚園」の Brownlee と VanFleet によって展開され，Howard によって全国に普及したと言うことができる。さらに，彼女らの幼児教育は，アメリカにおいて子ども中心主義幼児教育の思想と実践を学んできた韓国人の徐恩淑と金愛麻とによって受け継がれていった。Brownlee を除く彼女らの共通点は，アメリカの中で最も進歩的な幼児教育の中心地であったコロンビア師範大学で学んで来たということである。

Brownlee はコロンビア師範大学で正規の課程を受けることはなかったが，幼稚園師範科と保育学校[12]の教材として Patty Smith Hill の『A Conduct Curriculum for the Kindergarten and First Grade』を使い，さらに 1932 年には，著者の許可を得て『活動に基づいた児童教育法』というタイトルで翻訳もした。これは Brownlee の進歩的な幼児教育が，アメリカで最も進歩的で革新的なコロンビア師範大学と脈を共にしているということを示すものである。VanFleet は 1925 年と 1932 年にコロンビア師範大学で B.A. 課程と M.A. 課程を修了し，Clara Howard は 1928 年にコロンビア師範大学で M.A. 課程を修了した。その他，韓国人の教育者である徐恩淑と金愛麻は，それぞれ 1931 年と 1948 年にコロンビア師範大学で M.A. 課程を修了した。ただし，金愛麻のコロンビア師範大学への留学は，時期的に後 (1948) であるが，彼女は宣教師たちが撤去 (1941) した後，子ども中心主義の幼児教育を継承発展させ，その指導者となった。

以上のように，「梨花幼稚園」はアメリカの進歩的な幼稚園改革の影響を受けて，最も進歩的な幼稚園として出発した。さらに，教師たちの背景と活動から見て，コロンビア師範大学の幼児教育研究の影響を受容しながら発展していったと言うことができるのである。

第 3 章 「モンテッソーリ教育」が受容されなかった理由

(1) 時期的な問題

1907 年モンテッソーリがローマの子どもの家 (Casa dei Bambini) で，彼女の教育法を適用して成功を収めている時期，アメリカでは幼稚園教育関係者たちが Froebel の恩物と作業を中心とした教育方法を改善すべく活動していた。こうした状況の下に，Froebel 主義幼稚園への批判が始まり，進歩主義幼稚園へと変わっていく時期と重なるようにして，モンテッソーリ教育法がアメリカに紹介され (1909)，モンテッソーリ・ブームが生じたのである。1913 年モンテッソーリが訪米して，カーネギー・ホールで講演を行った時がモンテッソーリ・ブームの最高潮期であった。しかし，やがて，モンテッソーリ教育への批判が活発化するところとなったが，その代表例が 1914 年 Kilpatrick による『The Montessori System Examined』であった。幼児教育思想の

研究家である岩崎次男が，モンテッソーリ教育運動が与えた影響について「その流行が与えた影響及びその批判において進歩主義幼稚園の勢力が果たした効果的な役割によって，進歩主義幼稚園は保守的 Froebel 主義幼稚園を決定的に圧倒することになった」[13] と述べているように，この時期保守的 Froebel 主義幼稚園は退潮し，進歩主義幼稚園が登場した。同時に，導入当初はあれほどブームをひきおこしたモンテッソーリ教育も Kilpatrick を中心とする進歩主義幼稚園の勢力から厳しく批判され次第に衰えるところとなった。従って，1913 年前後のモンテッソーリ・ブームは，岩崎次男の言うように，保守主義に対する進歩主義の勝利に貢献する以外のものではなかったといってよい。とにかく，20 世紀初めのアメリカにおけるモンテッソーリ・ブームは短期間で終わったのである。

その衰退の要因として次のようなことが挙げられる。

①紹介された時期が悪かったこと。即ち，アメリカの産業資本主義社会の発達が未熟で，教育も開発主義・科学主義に徹し得なかったことと，当時のアメリカには独自の教育哲学に基づいた進歩主義教育理論が樹立される過程にあったという点である。

②当時のアメリカの心理学とモンテッソーリの理論が合わなかったということ。1900 年代初期のアメリカには Charles Darwin の固定化された知性についての理論が広く行き渡っていて，知能は遺伝によって予め決定されているものであり，このため初期の教育的諸経験がその後の知的発達に重要な影響を及ぼすことは在り得ないと考えられていた。従って，現実を中心とした「準備された環境 (prepared environment)」の中で早期からの知的学習の可能性を信じるモンテッソーリの見解は，反対された。

③モンテッソーリ教育に対する幼稚園教育界の否定的な評価で，特にモンテッソーリ教育は教師団体から強く反対された。因習的な教師たちは，人々が伝統的な教授法をもはや十分のものではないと感ずることに恐れを覚えていた。何故なら，モンテッソーリ教育法が彼らの教授法とは全く異なる性質，即ち，教師中心ではなく教育的環境の重視を示したからである。

④モンテッソーリを支援した人々が心理学や教育学の新しい理論を体系化しようとしていた人たちではなく，資本主義社会の発展に相応しい教育を求めていた政治家や科学者の人たちであったということである。

⑤モンテッソーリ教育協会[14]が分裂という問題をひきおこしたこと。1915 年頃になると，モンテッソーリ主義者による運動も行き詰まりをみせ，何よりも財政上の困難に直面していた。こうした状況が一つのひきがねとなって，1915 年 1 月にモンテッソーリ教育協会の内部分裂が生じ，「全米モンテッソーリ教育促進財団」[15] がニューヨークに設立された。しかし，この財団も財政上・組織上の立て直し策にも関わらず，1918 年には解散に至ったのである。

⑥進歩主義教育の旗手と言われる Kilpatrick から批判を受けたことで，彼の本『The Montessori System Examined』(1914) は幼稚園教師たちに大きな影響を与え，モンテッソーリ教育運動を衰退させる一つの要因となった。

以上のような理由によって，モンテッソーリ教育運動は次第に衰退しはじめ，1918 年にはほとんど衰えていたというわけで，韓国に「梨花幼稚園」が設立されアメリカ人教師の活動が始まった 1914 年という年は，アメリカでモンテッソーリ・ブームが衰退しはじめていく時期と重なるのである。こうしてみると，「梨花幼稚園」にモンテッソーリ教育法が紹介されなかった理由の一つとして，「梨花幼稚園」のアメリカ人教師たちが，自国アメリカで様々な批判を受けて衰えていくモンテッソーリ教育より，新たに登場した進歩主義教育に関心を示していたからであろうということが推測される。実際，「梨花幼稚園」では初めから進歩的なプログラムが取り入れられ，子どもの自由な活動が中心になる活動中心の教育が実践されていた。さらに，もう一つの理由として考えられるのは，「梨花幼稚園」の教師たちが Kilpatrick の影響力の最も強いコロンビア師範大学で修学したという事実から，彼女たちが Kilpatrick の影響を多大に受けていたということも考えられる。これに関しては，次の (2) 教師たちの背景の問題の中で述べることにする。

(2) 教師たちの背景

Brownlee が 1914 年から「梨花幼稚園」で実施した教育は，進歩的なものであった。即ちそこでは，子どもの多様な経験を通して知的基礎（読み・書き・計算・地理・音楽・手技・図画・自然）を磨くことと，子どもが活発でためらわずにしゃべること・集中力を養うこと・秩序を守ること・譲ることなどの集団生活態度を養うことなどを強調し[16]，そのための教育方法として子どもの自由な活動が保障されていた。このような Brownlee の幼児教育観は，当時変革期を迎えていたアメリカの幼稚

園教育の進歩的な傾向を反映したものである。

Brownlee は，当時のアメリカ教育界の傾向，即ち，Froebel の精神を尊重して自発的活動・創造的活動・社会性開発に重点を置くけれども，新しい児童研究の結果を活用して，自由な遊びと活動が中心になる子ども中心主義教育を，「梨花幼稚園」で実際に行った。初期の Brownlee の子ども指導法には恩物と作業があった。しかしそれらは，伝統的な Froebel 主義の恩物と作業の指導とは異なるもので，恩物は一種の教具とか遊具として扱われていた。また，幼稚園師範科の教育内容にも恩物と作業はあったが，これも伝統的な Froebel 主義ではなく，遊戯 (Play)・唱歌 (Songs)・手技 (Handwork)・童話 (Storytelling) といった教育内容の中で，「手技」に含まれている恩物と作業であった。即ち，Brownlee は話・集中力・生活秩序・集団生活の訓練を教育の目標として，そのために遊戯と活動を展開しようとした[17]。

以上のように，アメリカの進歩的な幼児教育は Brownlee を通して「梨花幼稚園」で実践されただけでなく，「幼稚園師範科」の学生たちにも受け継がれ，「幼稚園師範科」の卒業生が赴任した幼稚園でも子どもの自由な活動を中心とする子ども中心主義教育が展開されるところとなったわけである。

VanFleet の幼児教育観も進歩的なものである。それは，彼女が提示した幼稚園教育の目的とその内容の中によく現れている[18]。

(1) 身体的福祉の配慮:
 ①日光・風通し・広い空間
 ②家づくり・滑る・大きいボールなど，筋肉の発達のための教具
 ③ハンカチ利用・くしゃみ・咳・うがいなどの生活習慣
(2) 知的発達: 子どもに有益な経験・教材の時期選択（これは，有能な教師によって行われる）
(3) 子どもに適合した経験: 庭園の手入れ・人形遊び・大工屋・靴屋の訪問など（これには，子どもの反応を緻密に観察することが必要）
(4) 絵・音楽・演劇・言語を通した表現とその他多様な表現活動を助ける
(5) 自制力: 自分の行動に対して責任を持つようにする
(6) 宗教的衝動の開発: 動・植物の世話・話と歌を通して神様を知るようにする
(7) 子どもの満足と幸せ: 身体的・精神的・道徳的・霊的に健康であって，子どもの幸せが保障されなければならない

即ち，VanFleet の教育方針は，日常生活と関連した多様な活動を通して子どもに満足と幸せを与えることができるように，幼稚園の環境と指導方法を配慮したものである。さらに VanFleet は，幼稚園は読み・書き・計算を教えるところではなく，知識の基本的能力を育て，多様な遊びと活動を通して社会に有用な態度と習慣を育てるところであると考えていた[19]。

以上で述べてきたように，初期「梨花幼稚園」の教師たちは，進歩的な幼稚園教育者であった。彼女たちは本によってではなく，自由な活動によって子どもを教育するという画期的な教育方法を提示し，韓国の教育界に一大転機をもたらした。彼女らが展開した活動中心の幼児教育は，進歩的な幼稚園教育の中心地であるコロンビア師範大学で学んで来たものである。即ち，彼女らは安息年を利用してコロンビア師範大学で再訓練を受けることによって，絶えず新しい理論と実践を体験して来たのである。

ところが，「梨花幼稚園」の教師たちが，コロンビア師範大学で進歩主義教育を学んできたという事実は，モンテッソーリ教育法が「梨花幼稚園」で扱われなかった理由を探るよい手掛りを提供する。何故なら，当時コロンビア師範大学には，モンテッソーリ教育の批判者 Kilpatrick が教鞭を取っていたからである。Kilpatrick は，進歩主義教育の旗手と言われていた人で，彼は 1914 年に『The Montessori System Examined』[20] を発表して，モンテッソーリ教育法を厳しく批判した。彼の本は，教師たちのために書かれたもので，モンテッソーリ教育思想と他の教育思想とを関連づけ，それがアメリカの土壌にどの程度合っているかを吟味するためのものであった。しかし，その根底には，一つの教育思想がただ熱狂的な信仰のみに支えられて広まって行ってよいものかどうかという問題意識があった。Campbell は，『A Critical Analysis of W. H. Kilpatrick's The Montessori System Examined』[21] の中で，Kilpatrick の批判は些か誇張的な傾向があり，未熟で，しかも客観性に欠けている面があると非難しているが，とにかく，Kilpatrick の本は瞬く間に教師たちの間に広まって，モンテッソーリ・ブームを冷ます一つの要因となった。

従って，Kilpatrick が教えていたコロンビア師範大学で修学して来た「梨花幼稚園」の教師たちが，Kilpatrick の影響を受けてきたということは考えられる。もし，そうだとすれば，彼女たちがモンテッソーリ教育を知らなかったと考えるよりはむしろ，モンテッソーリ教

育法には挑戦するに十分なものは何もないと考え，モンテッソーリ教育を無視していたと考えたほうが妥当であろう。

おわりに

以上，述べて来たように，1909年から1921年までアメリカで起こったモンテッソーリ教育運動が，韓国，特に「梨花幼稚園」に影響を及ぼさなかったことは，①アメリカ人の教師たちの活動がアメリカのモンテッソーリ教育運動の衰退期から始まったこと②「梨花幼稚園」にはコロンビア師範大学出身の教師が多くいて，彼女らがKilpatrickの影響を強く受けていたこと，などがその理由として考えられる。

「梨花幼稚園」では，当時，アメリカで行われていた活動中心の幼児教育，特に作業と多様な活動を子どもが自由に選択するといった子ども中心主義の教育が実施されていた。このことは，日本の植民地教育政策によって各段階の教育が抑圧と画一化に走っている時に，幼稚園では特別な制裁を受けていなかったことによって，幼稚園の教師たちができるだけ子ども中心主義の教育を実践しようとしたからである。例え「梨花幼稚園」で，モンテッソーリ教育法が扱われなかったとは言え，初期の「梨花幼稚園」で自由な遊びと活動が中心になる子ども中心主義が実践されていたということは，子ども中心主義という幼児教育の本質から考えると，そこにはモンテッソーリ教育の理念が流れていたということが言える。今日，韓国でモンテッソーリ教育がブームになっているのも，20世紀の初めに既に子どもの自由な活動を重視し，活動を通して行う幼児教育の原形が形成されていたからではなかろうか。

本稿で考察した「梨花幼稚園」はアメリカの影響を強く受けていたが，他の幼稚園では1920年代の最も旺盛な幼稚園の普及期に，音楽と律動遊戯を幼稚園の中心的活動として受容し発展させた。これは日本の影響によるものであると言える。しかし，このことに関しては稿を改めたい。

註

1) Appelbaumの時期区分によるものである。
Appelbaum, P., *The Growth of The Montessori Movement in The United States, 1909–1970*, New York University 1971, p. 59.

2) モンテッソーリ教育法は，イタリアのマリア・モンテッソーリ(Montessori, M., 1870–1952)が1907年に開設した「子どもの家」で実践され，今日まで特に幼児教育の分野で多大な影響力を保っている教育法である。それは，子どものために特別に作られた環境における子どもの自由作業を特色とする。「子どもの家」には机も教壇もなく，一斉授業も廃止され，子どもの自由と内的欲求が尊重される環境がととのえられた。「子どもの家」での教育上の唯一の指針は子どもであるとして，子どもの生命の法則性に合致した，自由で調和的な人格的発達の助成をそのねらいとしていた。まさに追求さるべき原理は行動し自己表現する生命のさまざまな深いエネルギーを援助することであった。そこで，最も注意が払われたのは，子どもの自発的活動を抑圧したり支配したりする干渉への危険であり，子どもの精神の神秘さの自己発現を妨げる大人の存在であった。教師は有能であればあるほど，子どもの行動に対する教師の意図の影響力をよりよく抑えることができなければならなかったのである。モンテッソーリは，子どもの心の奥底を明らかにする科学的研究や，たえず干渉や抑圧をくわえる大人からの子どもの解放を要請していた。さらに，大人の役割が子どもと現実をつなぐ「きずな」となることにあると考えていた。

3) 幼稚園の専門家として来韓し，本格的な幼児教育の実践と普及に寄与した宣教師は，監理教女宣教会(The Woman's Foreign Missionary Society of the Methodist Episcopal Church)から派遣されて来た。Brownlee・VanFleet・Howardは監理教宣教師である。本来，監理教には長老教より多くの女宣教師がいて，それ故に婦女事業に多くの貢献を残したという。さらに，アメリカの監理教女宣教会から派遣される女宣教師は，派遣にあたって伝導活動のために医学・教育などの専門的な知識を身につけ，適切な手段と方法を十分備えているように訓練を受けるということである。Brownlee・VanFleet・Howardが専門的な知識と方法を備えているように十分訓練されていた事実からもこのような傾向がよくわかる。

4) 李相琴『韓国近代幼稚園教育史』梨花女子大学校出版部，1987, pp. 70–71.

5) 「私立釜山幼稚園」は，1897年3月3日，開港地である釜山府西町にある「北濱通信部」家屋で開園した。この幼稚園は，日本の仏教宗派の一つである「真宗大谷派本願寺釜山別院」によって設立されたものである。1906年には幼稚園の園児数が120名もあった。しかし，この幼稚園には日本人の子どもたちだけが入園できた。
「庚子記念公立京城幼稚園」は，1900年10月に設立された。この幼稚園はソウルに住む日本人居留民が「先帝陛下御成婚の大典奉祝」を記念するために集めたお金で設立されたものである。この幼稚園では，園児の保育と発達を助けることによって幼稚園と家庭間の結束を固め，国民教育の基礎的な素養を養うことに力を入れた。1923年8月には園舎を新築し，1929年には4学級に園児数が167名もあって，この中には韓国の男の子一人が就園していた。

6) ここでは，活動と作業の選択権を子どもに任せるという意味。

7) アメリカ人宣教師と韓国人教育家が，当時アメリカのコロンビア師範大学で専門的な教育を受けたのは，コロンビア師範大学の特別プログラムと関係があるようである。即ち，1923年にロックフェラー(Rockefeller)財団の年間10万ドルの支援でコロンビア大学教育学部に国際部(International Institute of Teachers College Columbia University)が開設された。国際部部長として，モンロ(Paul Monreo)が就任され，Columbia Universityは1900年の初めから既に多数の外国留学生を受容していたが，国際部の新設によって組織的・積極的に国外活動を展開するようになった。国際部のProjectは3部分に分かれ，①外国人留学生の専門的訓練②外国の教育調査

及び研究③教育担当宣教師の専門的訓練である。このプログラムに登録された人員は，平均50か国から凡そ300名の外国人及びアメリカ人宣教師であった。例えば，1923年初年度は全体人員の350名のうち，外国人学生225名，アメリカ人宣教師125名が44カ国から留学していた。

8) VanFleet, E. H., *Charlotte Brownlee A Pioneer*, The Korea Mission Field. Vol. 35, No 12, 1939.

9) 『東亜日報』，1920年4月6日。

10) VanFleet, E., *The Aim of the Kindergarten*, The Korea Mission Field, 1920-1923, p 78.
「幼稚園資料と設備項目」
滑り台
ブランコ：椅子ブランコ，低いブランコ
積み木：Hill 積み木，Froebel の第5・第6拡大恩物，木製大型ビーズ，基本色
人　形：実物大きさの人形1-2個，各幼児用の小さい人形（着替え用のもの）
ボール：サッカー・ボール，ボール遊び用のゴムボール，色系で包んだ小さいボール，小豆袋
玩　具：リヤカー，馬，一輪のリヤカー，人形ベッド，食卓，ボウル，アイロン，箒，皿，砂遊びの枠
砂　箱：室内と室外
黒　板：色チョークと白チョーク
図書用紙：折り紙，基本色(4×4, 5×5)，切る用紙，破る用紙，箱，おもちゃ制作の時使う紙固定用の釘
粘土または石膏，鋏，糊，絵の具，クレヨン，絵本，幼児に適切した壁かけ用の絵，幼稚園音楽の本
※①約30名を受容する幼稚園の施設費は380～400ウォンが必要（椅子・机含む）
②教師一人当たり担当幼児数は30名

11) アメリカでは，1880年後半から伝統的な Froebel 主義幼稚園が恩物 (Froebel's gift) 体系の継承ばかり重視しているとして，批判の声が高まっていた。特に，20世紀の初めに幼稚園界は，保守派と革新派（自由派）と分かれ，I.K.U. (International Kindergarten Union) とコロンビア師範大学で激しい論争が展開された。I.K.U. は1919年に『幼稚園教育課程 (The Kindergarten Curriculum)』と，1921年に『幼稚園初等1学年課程(A Kindergarten First-Grade Curriculum)』を出刊した。

12) 保育学校とは，1928年3月に「幼稚園師範科」が「梨花保育学校」と改称されたものである。創立年月日が3月14日となっている梨花保育学校は，1939年まで12回にわたって274名の卒業生を輩出した。この学校は女子高等普通学校卒業者と同等もしくはそれ以上の学力を所持した者が入学した。1925年に梨花学堂が梨花女子専門学校と改称され，授業年限は3年となった。その後，1943年12月日本が戦時臨時教育令を発表した結果，梨花女子専門大学は女子青年養成所指導者養成科に変わって，保育科はこれに吸収されてしまった。

13) 岩崎次男編『近代幼児教育史』明治図書，1979, p. 80.

14) 1912年春アメリカにおけるモンテッソーリ教育委員会 (the Montessori American Committie) が設けられた。この委員会は1913年5月法人組織となり，ワシントン市に本部を持つモンテッソーリ教育協会 (The Montessori Educational Association)」と改名され，会長 Bell 婦人・副会長 McClure・Fisher・George などを中心に構成された。この協会は，モンテッソーリ教育の学校の設立とその援助，モンテッソーリ教育についての情報の収集，機関誌の発刊，モンテッソーリ自身が教員養成のため開設するモンテッソーリ・トレーニング・コースの援助を主な目的としている。1914年半ばには，この協会の会員は700名にも及んだ。

15) 1915年1月モンテッソーリ教育協会の内部分裂が生じ Parkhurst を中心とする「全米モンテッソーリ教育促進財団 (The National Montessori Promotion Fund) が，ニューヨークに設立された。この財団の役員は，各誉会長にモンテッソーリを戴き，モンテッソーリ教育協会の会長を除いて全てを入れ替える人事を行った。教育協会側は，こうした動きに対抗しようとしたが，抗しきれず解散し，大半の支部は財団に加入し，教育協会の中心人物であった Bell 婦人はワシントン支部を再組織し，かつ財団の役員をも兼任することで落着した。Parkhurst はアメリカ国内を二つの地域（ミシシッピーから東と西）に分け，前者を Parkhurst の，後者をモンテッソーリの管轄とし，複雑化した仕事の処理を合理化し，かつ財政の立直しをはかることに努めた。また「アメリカ合衆国におけるモンテッソーリ・クラス，モンテッソーリ教師，養成コースの学生・モンテッソーリ協会の名簿録」を1917年に公刊し，アメリカにおけるモンテッソーリ教育の状況の把握を行った。こうした財政上・組織上の立直し策にもかかわらず，1916年財団は解散し，Parkhurst はそれ以後モンテッソーリ教育から離れ，ドルトン・プランと取り組むことになる。

16) Brownlee, C., *Kindergarten Work in Korea*, Christian Educational Association of Korea, 1917, p. 29.

17) Brownlee, C., *Ibid.*, pp. 28-29.

18) VanFleet, E., *The Aim of the Kindergarten*, The Korea Mission Field, 1920-23, pp. 76-77.

19) 『東亜日報』，1920年4月6日。

20) Kilpatrick, W. H., *The Montessori System Examined*, New York 1914.
Kilpatrick はこの本の中で，モンテッソーリ教育法を時代遅れの陳腐なものとみなした。特に彼は，モンテッソーリと Dewey の教育論を比較して「二人ともに実験学校を組織した。自由・自己活動・子どもの自己教育を力説した。また二人は日常生活の活動を大幅に取り入れた。要するに，二人は手を組んで固く守られている伝統に抵抗した。しかし，そこには大きな違いがある。モンテッソーリは幼児教育に組織的な簡単に操作できる一揃いの教具を考案した。……モンテッソーリは，イタリア語の音声的な特性をうまく利用しながら，読み・書きのより充実した教授方法を生み出そうと努力した。Dewey 教授はこれらの教科を教えるべき学校の義務を認めながらも，幼い子どもには同時に私たちの複雑な社会環境の習得をさせるような，子どもの生活にとってより生き生きとした諸活動が強調されるべきだと考えている」と，二人の差異を指摘した。そして「モンテッソーリを教育理論の優れた貢献者のグループにかつぎ上げようとする人々は間違っている。彼女は私たちの教育理論に刺激を与えてはいる。しかし，いやしくも彼女が私たちの教育理論への貢献者であるとしても，せいぜいそんなところである」と批判した。(pp. 65-66)

21) Campbell, D. N., *A Critical Analysis of W. H. Kilpatrick's The Montessori System Examined*. (unpublished Ph. D. dissertation University of Illinois at Urbana-Champaign, 1970)